

## ドローンの聖地、中国・深センにグローバル展開への 第一歩として進出、そして北米へ

株式会社エアロネクスト (Aeronext Inc.)

伊東 奈津子 Global CMO



空に産業革命を起こすことをビジョンに掲げるスタートアップ企業、株式会社エアロネクスト。同社の事業展開と海外進出の経緯、ジェトロからの支援について、執行役員グローバル CMO の伊東奈津子氏に伺いました。

—エアロネクスト社の事業内容について教えてください。

当社は2017年4月に設立した、ドローンの機体構造の研究開発を行っているテクノロジースタートアップです。

既存のドローンは、耐風性能が低いため落下する危険性も高く、モーターやバッテリーの消耗で飛行時間も長く取れず、速度があまり出ないなど、さまざまな課題があります。弊社の取締役 CTO である鈴木陽一は、重心を制御することによって安定性を飛躍的に高め、従来のドローンの課題を解決する「4D GRAVITY」技術を発明し、この発明が当社の設立につながりました。また当社は知財戦略を経営のコアに置いており、4D GRAVITY のコア技術と特許、特許ポートフォリオ、そしてブランドをすべてまとめあげた 4D GRAVITY テクノロジーライセンスを全世界に広めていくライセンスビジネスを展開しています。インテル社によるインテル CPU のビジネスモデルのように、ドローン業界において 4D GRAVITY をどの産業ドローンにも導入していきたいと考えています。

**—なぜ海外進出の第一歩を中国と考えたのですか？**

私どもはライセンスビジネスを広げるため、当初からグローバル展開を目指していました。そのためまずは試作機をどんどん飛ばして検証データを蓄積することが重要です。海外進出の際にまず考えたのは中国です。特に中国の深センはドローンの世界シェア 70%といわれる DJI 社の本拠地でもあり、ドローン技術に精通したエンジニア人材や、ドローンの飛行環境が整っています。私たちは、中国で技術

を認められることが、グローバル市場における第一歩になっていると思っています。



—中国進出のきっかけについて教えてください。

2018年8月にJETROも後援していた深セン市南山区政府が主催するピッチ大会「創業之星」の日本大会で1位入賞。その後、深センの決勝大会で総合3位と知的財産賞を受賞しました。その結果、深セン政府およびJETRO・グローバルアクセラレーションハブ（以下「ハブ事業」）の提携先である清華大学研究院のメンターからさまざまなサポートをいただくようになりました。

2018年11月以降定期的にハブ事業を利用させていただき、コワーキングスペースの利用申請や、

法人設立に関する各種手続き・人材採用・市場開拓・ビジネス展開時の留意点などの相談に対応いただきました。

—それで、深センに現地法人を設立したのですね。

2019年5月に深センに現地法人を設立しました。その翌月には、私どもとフィットする点があったMMCとSMDという深セン産業ドローンメーカー2社と提携しました。その5カ月後の11月には、深センにある南方科技大学と機体性能や信頼性の向上に向けた実証と研究開発の拠点となる共同ラボの設立を発表しました。

現地法人設立後もジェトロのハブ事業で人材採用など何度かご相談をさせていただき、アドバイスをいただきました。



—中国以外へも展開していますか？

北米やヨーロッパの展示会にジェットロのサポートで出展しています。2019年9月にドイツ・ベルリンで開催されたIFA、同年10月にアメリカ・サンフランシスコで開催されたDisrupt SF、今年1月にアメリカ・ラスベガスで開催されたCESなど、ジェットロのサポートがあったこそ我々のようなスタートアップでも海外へ出やすくなったのです。おかげで、世界各国のメディアで取り上げられ、CESだけでも世界14言語 37カ国計 220本以上のオンライン記事が掲載されました。世界的な展示会に出ささせていただき、私どもの技術が広く認知されたことについては、とてもありがたく思っています。

また、JETRO主催のJETRO・イノベーション・プログラム（JIP）シリコンバレー2019 コースにも参加させていただきました。日本国内での強化研修を経て現地へ渡り、投資家や VC の前でピッチをしたり、ビジネスマッチングを受けたり、シリコンバレーのエコシステムに対する理解を深めることができたほか、会社および自分自身のブラッシュアップができました。

中国の次には北米市場を最重要視しています。また、シンガポールも視野にいれています。シンガポールは、ASEAN 全体に対して影響力がありますし、ヨーロッパ方面へ向けてアピールできる場でもあるので期待しています。

**—その他、JETROからはどのような支援があったでしょうか？**

一つJETROに非常に感謝していることがあります。我々は中国を海外進出の第一歩と考えた際に、国間の技術移転に関する認識が薄かったのですが、JETROの担当者に経済産業省安全保障貿易管理の専門家を紹介いただき、具体的なアドバイスをいただくことができました。中国に拠点もあり、北米市場も視野に入れている当社にとっては、今後の戦略策定においても大変参考になりました。

**—今後の展望について教えてください。**

新型コロナウイルスの影響で海外出張が難しいこともあり、目先は国内でできることに集中します。グ

グローバル展開のための知財戦略強化や国内における実体化と実証データ作りに注力できる期間と捉えています。そして状況が落ち着けばそれらをフルに生かしジェトロのサポートもいただきながらあらためて積極的なグローバル展開を再始動したいと思っています。

## 株式会社エアロネクスト

代表者：田路 圭輔

設立：2017年4月

事業概要：無人航空機（ドローン）の研究開発、啓蒙および販売促進

住所：東京都渋谷区恵比寿西 2-3-5 石井ビル 6F

URL：<https://aeronext.co.jp/>

### ご利用いただいたジェトロのサービス

#### [ジェトロ・グローバルアクセラレーションハブ](#)

海外のスタートアップ・エコシステムを活用したビジネス拡大を目指す日本のスタートアップに対し、プリーフィングやメンタリング、マッチング等のサービスを無料で提供します。

#### ジャパンパビリオン出展

海外の有力なスタートアップ関連イベントにジャパンパビリオンを設け、出展料補助や付随するイベント等を通じ、日本のスタートアップのグローバル展開を後押しします。

#### [ジェトロ・イノベーション・プログラム（JIP）](#)

海外アクセラレーターによるビジネスモデル構築のための集中講座「Boot Camp」やメンタリング、ピッチコンテスト、展示会での商談機会等を提供します。